

ホワイトボードアプリ上で、スピーディーかつ活性化した話し合い

<期待される効果>

【児童・生徒】○共同編集機能により、話し合いへのハードルが下がり、抵抗感なく主体的に学習に取り組むことができる。

【教師】○模造紙等の準備が不要で、時間的・空間的な制約がなくなるため多様な意見を知り、幅広い視点を獲得させやすい。

<学習場面>

発表や話し合い
(協働学習)



<機能・ツール>

【協働】

M365 : Onenote

Google : GoogleJamboard

ロイロ : シンキングツール

ミライシード : ムーブノート

<モデル事例>

○一つのテーマについて意見を皆でたくさん出す。

○グループの意見をまとめて座標軸に置き、それらを動かしながら考えを整理をする。

○整理したのを見ながら、その場で考えて議論する。

○整理して考えてことをそのまま発表の資料として使う。

<ポイント>

○資料作りや考えて話す場面において、紙よりも手軽に素早くできる。

○話し合いにおける思考を可視化して表現しやすい。

<注意点>

○同じ編集でもOnenoteやGoogleJamboardは一齐に編集する、ロイロシンキングツールは作ったものを持ち寄って連ねるなど、アプリによりできることが若干異なる。指導者側の使い分けが必要である。



<ハッシュタグ>

#初級 #共同編集 #協働学習 #話し合い #思考力・判断力・表現力等 #視覚化 #資料作成